



荻川小学校

コミュニティ・スクールだより No.1



コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは…

昨年度から新潟市の全ての公立小・中学校において学校運営協議会を設置し、地域と学校が支え合い、共に成長し、活性化していく「地域とともにある学校」づくりが進められています。

荻川小学校も、学校教育目標「共に高まる 自信をもって歩む子ども」の実現を目指し、地域や保護者の代表の方から学校運営や教育活動について、ご意見や必要な支援をいただきながら肯定的な未来の話し合いが進められています。

第1回 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)が開催されました

6月20日(火)、「第1回学校運営協議会」が荻川小学校にて開催されました。昨年度末に承認された学校運営方針・学校教育ビジョンの確認の後、『日々の授業で身につけてほしい〇〇力』について話し合いを行ないました。

～次第～

- 1 開会のあいさつ
- 2 年間計画の確認
- 3 学校運営方針, 教育ビジョンの確認
- 4 学校評価
- 5 「児童につけたい力」「日々の授業」について話し合い
- 6 閉会あいさつ



コミュニティ・スクール委員



代表	田中 雄二
副代表	小林 裕史
委員	関 洋一
委員	中野 勇作
委員	森泉 哲也
委員	太田 伸男
委員	平田 伸一
委員	菅原 知昭
委員	加藤 淳司
事務員	大江 春香



「児童につけたい力」、「日々の授業」についての話し合いでは、校長先生からスライドをつかった説明の後、今の子どもたちに将来必要になる〇〇力を考えました。



一つの授業
「その先の学びにつながっているか」

社会科の授業
「電気自動車は自然環境にやさしい乗り物か」

一つの社会事業
複数の立場から検討する授業

多角的に考える
作る側、買う側、乗る側の視点で考える

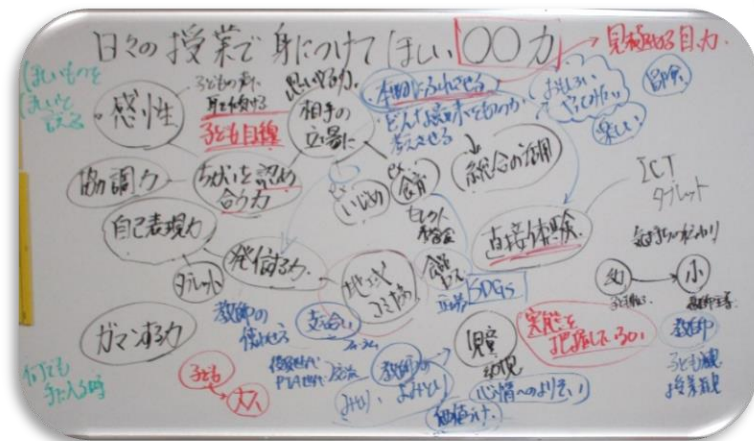
一つの授業
学校全体の教育課程に通じるものにした

本日のテーマ
日々の授業において〇〇力を身につけてほしい



委員の皆さんからの意見

- ・感性をつけてほしい。
- ・本物にふれてほしい。
- ・我慢する力をつけてほしい。
- ・自己表現力をつけてほしい。
- ・違いを認め合う力をつけてほしい。



委員の皆さんから、たくさんの意見が交わされました。

子どもたちが、人と人とがかわる経験・体験を重要ととらえ、地域や学校で「本物にふれる」ことが多くなるよう、いただいたご意見を生かし、今年度も教育活動をより一層充実させていきます。

問い合わせ先
荻川小学校 教頭 菅原知昭
TEL 0250-25-2171

